



日薬連

第44回 日薬連 国際委員会 会次第

2022年3月11日（金） 15：00～17：00
（会議形式：ハイブリッド）

第44回 日薬連 国際委員会 会次第



(15 : 00～16 : 30)

講演会1

- ・ 演題 : 『MEJが今後目指すべき医療の国際展開（インバウンドとアウトバウンドの融合へ）』
- ・ 演者 : 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長 笠貫宏氏

講演会2

- ・ 演題 : 『コロナ渦のJICAプロジェクト（インドネシア）について』
- ・ 演者 : JICA専門家（インドネシア）（厚労省からの派遣）佐野喜彦氏

(16 : 30～17 : 00)

定例会議

- ・ 内容 : 審議事項、委員・事務局交代（事務局）
報告事項 各協会より

日本製薬団体連合会 国際委員会 演者一覧



1. 2018年11月30日

演者：厚生労働省 国際薬事規制室 安田室長
演題：『留意すべき最近の薬事規制調和について』

2. 2019年2月1日

演者：PMDA 信頼性保証部（前規格基準部）大澤部長
演題：『今後の国際展開と局方』

3. 2019年4月5日

演者：内閣官房 健康・医療戦略室 佐々木正大企画官
演題：『アジア健康構想について』

4. 2019年6月21日

演者：PMDA 国際部 佐藤淳子部長
演題：『PMDA アジアトレーニングセンターについて』

5. 2019年9月20日

演者1：PMDA 医薬品品質管理部 倉持憲路部長
演題：『GMPに関する最近の話題』
演者2：厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課 境啓満課長補佐
演題：『マレーシアでの3年間の駐在経験を終えて』

6. 2019年11月10日

演者：富山県厚生部 くすり政策課 笹島仁主幹
演題：『富山県における医薬品分野での国際展開について』

7. 2020年2月21日（金）

演者：PMDA・厚労省 江原様
演題：『日本政府からタイ保健省出向3年を終えて』

8. 2020年3月18日

演者：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN (MEJ) 近藤達也理事長
演題：『日米欧・三大健康医療国 日本の歩むべき方向性』

9. 2020年7月29日

演者：PMDA国際部トレーニングセンター事業課長、アジア第1課長併任・北陸支部併任 緒方映子氏
演題：『PMDAの国際協働・規制等に向けた取り組み』

10. 2020年12月4日

演者：(株)ミノファージェン製薬 顧問 高下 洋一氏
演題：中国薬事行政の変化状況（概要）と今後の中国医薬品ビジネスについて

11. 2021年3月19日

演者：グローバルデータ・ジャパン株式会社 Business Development 川野 一志
演題：『中国医薬品市場の展望』 “China Pharma Market Landscape”

12. 2021年6月25日

演題：コロナ禍のインド製薬産業について
演者：中央学院大学 商学部 商学科 准教授 上池あつ子先生

13. 2021年10月15日

演題：『セルフケアとその周辺』
演者：日本OTC医薬品協会渉外担当顧問 富永俊義氏

14. 2021年12月17日

演題1：『中医学と漢方医学について』
演者：日本漢方生薬製剤協会 小柳裕和 氏
演題2：『世界の製造拠点としてのアイルランドの現状 FD1動向についてアップデート』
演者：アイルランド政府産業開発庁日本代表 デレク・フィッツジェラルド氏

15. 2022年3月11日

演題1：『MEJが今後目指すべき医療の国際展開（インバウンドとアウトバウンドの融合へ）』
演者：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長 笠貫宏氏
遠田2：『コロナ禍のJICAプロジェクト（インドネシア）について』
演者：JICA専門家（インドネシア）（厚労省からの派遣）佐野喜彦氏

第3回 日薬連国際委員会 アジアセミナー（インド）概要



タイトル1	第3回 日薬連国際委員会 アジアセミナー（インド）
タイトル2	<ul style="list-style-type: none">・原薬から完成品までの開発、製造、サプライチェーンを日印企業のパートナーシップで新しい市場を広げる（アフリカ、南米）・3方よしの医薬品開発の可能性の探索（品質よし、安定供給よし、お値打ちよし）・ポストコロナに向けての日印の医薬品供給体制準備（特に感染症 治療薬、ワクチン、診断薬）
概要	<ul style="list-style-type: none">・基調講演 (15分) インド政府 化学・肥料省 医薬品局 (15分) インド医薬品輸出品協議会 (Pharmexcil) (30分) 中央学院大学 商学部 商学科 准教授・パネルディスカッション 司会：千正さん (各10分) 6名のパネラー <p>N. ユバラジ氏 (N. Yuvaraj氏) ウダヤ・バスカル氏 (Udaya Baskar氏) 上池あつ子氏</p>
主催	日薬連
協力	PMJ インフォーマ マーケッツ ジャパン（株） powered by CPhI Japan ウェビナー

第3回 日薬連国際委員会 アジアセミナー（インド）



○テーマ：	日印企業のパートナーシップで新しい市場を広げる（原薬から完成品までの開発、製造、サプライチェーンの確立） ～ポストパンデミックに向けて感染症から地球上の誰一人取り残さないアプローチ（leave no one behind）～			
○日程：	2022年3月4日（金） 13：00-16：00			
○主催：	日薬連			
○協力：	インフォーマ マーケッツ ジャパン（株） powered by CPhI Japan ウェビナー			
○参加費：	聴講：2000円（事前登録制）			
○言語：	日本語			
○使用システム：	Zoom			
13:00-13:05	ご挨拶	日本製薬団体連合会	理事長	宮島俊彦氏
13:05-13:10	ご挨拶	駐日インド大使館 Embassy of India, Tokyo	大使 Ambassador	サンジェイ・クマール・ヴァルマ閣下 H. E. Mr. Sanjay Kumar Verma
13:10-14:10	基調講演1（15分）	『インド医薬品産業におけるインド政府の政策』		
	インド政府 化学・肥料省	医薬品局 次長		N. ユバラジ氏 (N. Yuvaraj氏)
	基調講演2（15分）	『日本製薬企業がインド進出に向けての医薬品規制状況』		
	インド医薬品輸出品協議会 (Pharmexcil)	事務局長 (Director General)		ウダヤ・バスカル氏 (Udaya Baskar氏)
	基調講演3（30分）	『インド製薬産業の競争優位の構築—競争優位構築における日印提携の意義と可能性』		
	中央学院大学 商学部 商学科	准教授		上池あつ子氏
14:10~16：00	パネルディスカッション	司会：	(株) 千正組 代表取締役	千正康裕氏
	1. インド製薬企業		Managing Director	調整中
	2. Otsuka Chemical (India) Pvt. Ltd.		経営学 融合研究域 教授	伊東治氏
	3. 金沢大学		エクスターナルリレーション部長	松島大輔氏
	4. 武田テバファーマ（株）		Vice President	大條正氏 (日本GE薬協 国際委員会副委員長)
	5. SYSMEX ASIA PACIFIC PTE LTD		Deputy Managing Director	大藤悟氏 (Oto Satoru)
	6. Eisai Pharmaceuticals India Pvt. Ltd.			山本秀至氏

日本企業支援状況（外務省）

外務省では、強力に日本企業の海外展開支援を進めています。ほぼ全ての大使館、総領事館などに「**日本企業支援窓口**」を設置し、企業からの相談を受け付けており、幅広いネットワークやODA等の各種ツールを活用し、日本企業をバックアップする体制を整えています。海外での事業に際し、お困りのことがあれば、外務省の支援施策の活用をご検討ください。 **経済局官民連携推進室** TEL：03-5501-8336 E-mail：business-support@mofa.go.jp

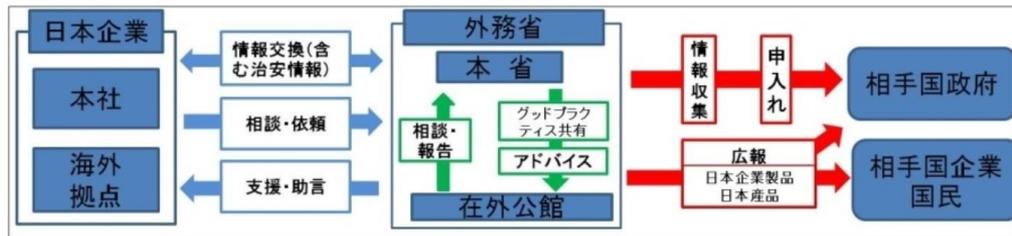
日本企業支援

日本企業支援窓口リスト

令和4年2月2日



外務省はほぼすべての在外公館に「日本企業支援窓口」を設置し、現地に駐在する日本企業支援担当官が個別企業からの相談・支援依頼などに積極的に対応しています。法律や制度、商慣行が異なる海外におけるビジネスでは、現地の政治や経済、市場動向、外国企業に対する政策等の幅広い情報が必要です。また、時には思わぬトラブルに直面することがあり、政府レベルでの対応が必要な場合も多く見られます。海外での企業活動を進めるにあたり困ったことがございましたら、日本企業支援窓口にお気軽に御相談ください。



(支援窓口について)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/kigyo/ichiran_i.html

(窓口リスト)

アジア4か国 大使館 情報



	大使館窓口	TEL	FAX	連絡メール	厚労省アタッシェ	日薬連代表
タイ	佐野 正太郎 杉木 貴大	(66-2) -696-3000	(66-2) -207-8517	business-support@bg.mofa.go.jp	横田和也	湯浅真佑
インドネシア	臼井 将人 松本 将明 三土 未知生	(62-21) 3192-4308	(62-21) 315-7152	support-japan100@dj.mofa.go.jp	中尾祐輔	西田洋平
ベトナム	山本 晃平 太田 幸宏	(84-4) -3846-3000	(84-4) -3846-3043	keizaihan@ha.mofa.go.jp	清水貴也	富永行紀
フィリピン	千野 泰洋 山田 優美	(63-2) 551-5710	(63-2) 551-5783	nikkeikigyo.phil@ma.mofa.go.jp	堀和一郎	齋藤賢

日薬連 企業代表・加盟協会、企業からのご意見



日薬連

国名	ご意見
タイ	<ul style="list-style-type: none">・ NCCの企画 AMED補助事業のようで寺田先生という方が既にタイに駐在中・ 大使館窓口の方は経産省から出向の方・ 大使館とJETROで本庁からの案件を連携・ 大使館のアタッシェの皆様は、現地の仕事が多く多忙
インドネシア	<ul style="list-style-type: none">・ 国際共同臨床試験に参画する事での現地側でのメリットはある
フィリピン	<ul style="list-style-type: none">・ アタッシェは、現地の仕事が多く多忙・ PHAP（欧米系フィリピン製薬協会）のような現地人から構成されている組織の連携要望
インド	<ul style="list-style-type: none">・ 新規物質承認許可のためのアジア臨床試験PF、現地日系企業として活用できる・ 市販後調査な臨床試験にも使えれば、日本からの価値創造として幅が広がる
OTC協会	<ul style="list-style-type: none">・ この機会にベトナムでの厚労省アタシエ、経産省アタッシェへご相談させていただく
シオノギ	<ul style="list-style-type: none">・ 厚労省・健康医療戦略室は積極的に動いてくださっており、大変感謝している・ ワクチンの審査等、治験実施国担当組織とのコミュニケーションにお力添え要望・ 厚労省・健康医療戦略室に協力依頼し、シオノギ独自力でアジアでの臨床試験PFタイ・インドネシア・ベトナムを構築中